

## “コソ泥”ではありません！

よく漫画などで描かれる描写では、“コソ泥”は、黒っぽいほっかむりをして登場しますよね。冬の終わり頃から春先に陶史の森で見掛けるほっかむり姿は、「イカル」という野鳥です。コソ泥ではありませんでした。

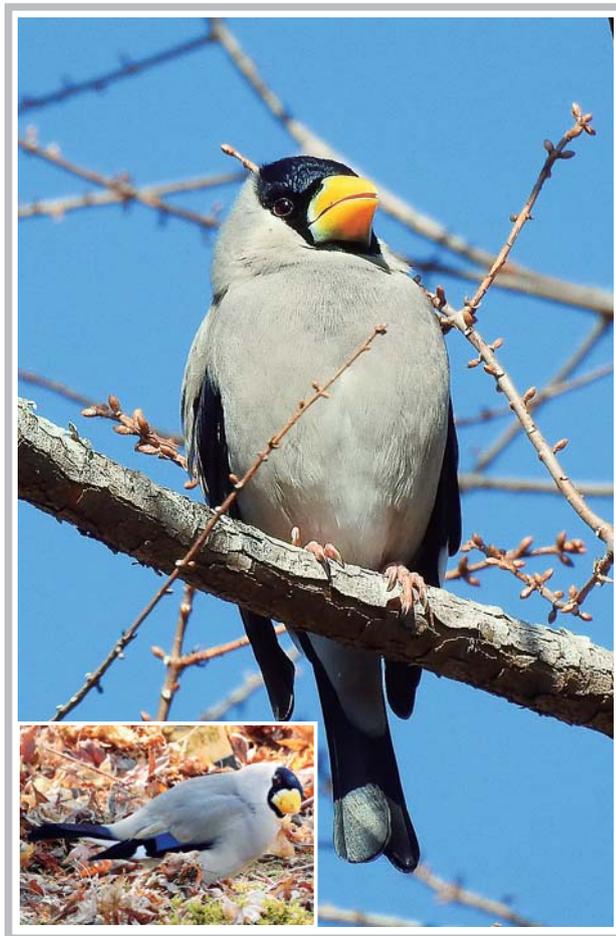
黄色の大きな円錐形のくちばしが特徴的で、堅い木の実や草の実を砕き割って食べます。その様子から「豆割り」とか「豆回し」とも呼ばれます。雄も雌も同色で、体は灰色、頭の前半分と翼・尾が青み掛かった黒色で、翼に白と青色の帯があります。大きさは23cmほどでツグミと同じぐらいです。

毎年この時期に10羽以上の群れをなしてやって来ます。しばらくすると見掛けなくなってしまうので、北国へ帰っていく途中に立ち寄るのでしょうか。ただ、図鑑には「年中全国各地に生息している」との記載もあります。

名前の由来には、鳴き声説と地名説があります。鳴き声が「キーコーキー」とよく通る声で、「イカルコキー」とも聞こえるので“イカル”という名前となったという説。もう一つは、“昔は奈良のいかるがの里にたくさんいたから”という説です。どちらが本当なのでしょう？

一度見ると、その姿はとても印象的です。運が良ければ20羽ぐらいの群れにも出会えますよ。

陽気のいい日には、ぜひ陶史の森へお越し下さい。



## 森の日記

### 皆さんの温かい心に感謝！

取材と巡視のために、毎日2時間ほど陶史の森の中の遊歩道を、カメラと三脚を担いで歩き回っています。

そうしていると、時折レジ袋を手に持った方に出会うことがあります。お尋ねすると「目にするゴミは拾っています」とのこと。

このご夫妻の他にも、ゴミ拾いをしてくれる方をしばしば見掛けます。また、事務所入口の花壇の草抜きをしてくれる方もいました。この施設で働いていて、市民の皆さんの温かさを感じる事が多々あります。いつもありがとうございます。



## 教室のご案内

### 3月

#### シイタケ教室(要申込・定員30人)

3月4日(日) 午前9時～11時30分

原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学びます。 ※原木は1家族1本

#### 自然教室(自由参加)

3月11日(日) 午前9時～11時30分

春を待つ木の芽や草の芽を調べます。

#### バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

3月25日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。

### 4月

#### ギフチョウ観察会(自由参加)

4月8日(日) 午前9時～11時30分

羽化したギフチョウを放ち、観察します。

#### バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

4月22日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。

#### ヒツジの毛刈り

日時未定・電話で問い合わせください。

